農福連携就労支援推進事業実施の背景

○　取組推進の背景

障害福祉分野においては、障害者は健常者に比べ就業率が低いことや障害者就労継続支援事業所（以下、事業所と言う。）における平均工賃月額は上昇してはいるものの、障害年金を含めても障害者が地域で自立した生活を送るには十分な金額とは言えません。

一方、農業分野においては、農業従事者の高齢化に伴う労働力不足の進行により農業就業人口が 20 年で約半数に減少し、また、これに伴って耕地面積も年々減少しています。

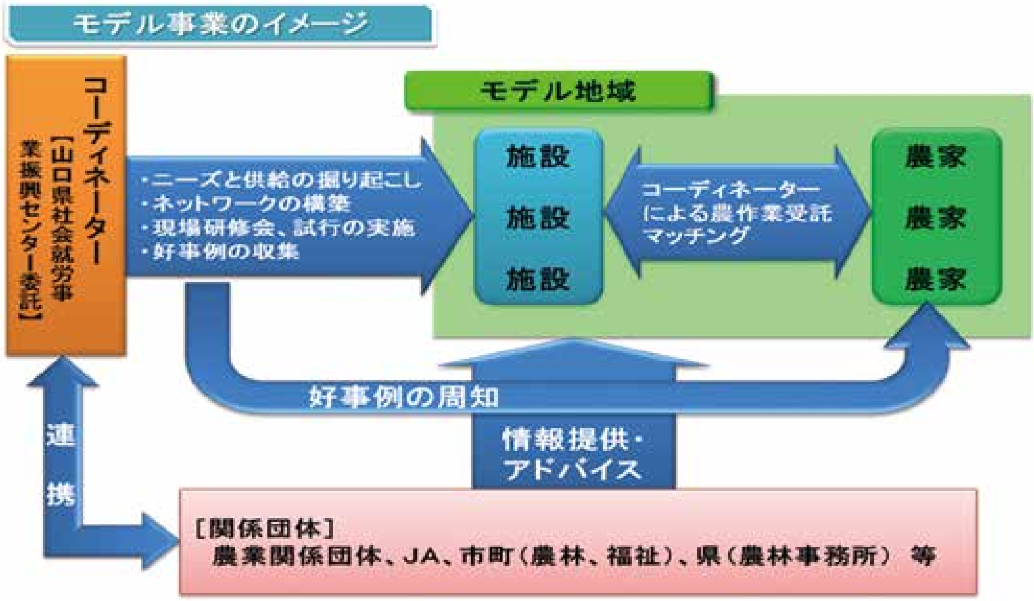
こうした状況を踏まえ、県では平成 27 年度より農業分野における繁忙期の労働力不足の解消や、事業所の工賃向上を図ることを目的として、モデル地域における農作業受託の取組の支援や、農福連携推進協議会の開催、障害者就施設が行う農作業の事例集の作成を行いました。

○　モデル地域における取組の支援

山口県社会就労事業振興センター（以下、振興センターという。）に農福連携コーディネーターを配置し、県内４ヶ所のモデル地域（山口、周南、宇部、長門）で障害者の工賃向上及び職域拡大を目的とした地域内連携による新たな農作業共同受託体制づくりを実施しました。

［取組内容］

- モデル地域推進協議会の開催
- 農作業受託の試行
- 障害者就労施設を対象とした農作業見学会の企画・開催
- 年間を通じた農作業のスケジュール、受託体制の確立



農福連携就労支援推進事業モデル地域の取組

県内４ヶ所のモデル地域の内、「山口地域」「宇部地域」の取組を紹介します。

○　山口地域

（１）地域の特徴及びモデル事業実施前の課題等

　地域の農業の特徴としては、農地が南部と北部に集中しており、南部地域は多くの農業法人が水稲、麦及び野菜を中心とした農業経営体であり、北部地域は水稲、果樹及び畜産を中心とした農業経営体となっています。

　事業所は、市街地に集中しており、作業受託は、山口市障害者施設共同受発注センターにおいて、企業・行政から依頼された役務作業の情報を各事業所にメールで提供し、受託の意向把握を行っていたところですが、農業者からの依頼は少ない状況でした。

　農業者側の課題としては、農業法人・個人農家とも高齢化が進み労働力不足が年々進行していることから、新たな担い手の確保が緊急課題となっていました。

（２）事業実施内容

○　ニーズの掘り起しとマッチング

　推進にあたり、まずはじめに農業関係団体、行政機関、事業所で構成するモデル地域の農福連携推進協議会を開催し、課題と推進に向けた取組について情報共有を図るとともに推進協議会構成員によるネットワークを構築しました。

　コーディネーターは、モデル地域内の事業所を訪問し活動内容を聞取り、施設外就労の実施の可否や、農福連携への参加意向の把握を行う一方、農業者ニーズの掘り起こしを行うため、農福連携推進協議会のメンバーから提供された農業者情報を基に農業者へ訪問し、事業への参加意向が示された場合は、マッチングに向け利用者が対応出来る農作業の抽出を行いました。

　作業の切り出しは、種苗から収穫出荷等の工程を細分化し、手作業となる①苗を運ぶ、②植え付ける、③草を抜く、④収穫する、⑤コンテナに入れてトラックにのせる、⑥農業倉庫で選別する、⑦計量する、⑧袋詰めする、等の作業が対象となります。

　抽出した作業は、農業法人の農場等で体験作業を行い、受託の意向を示した事業所があれば、報酬額や作業量などの細部について双方が協議する場を設けました。

○主な体験・作業説明会（４件、延べ９事業所）

農業法人	作業内容	参加事業所
山口県椎茸農業協同組合	原木椎茸のホダ木撤去	みんなの森、 きらら夢ＫＯＢＯ
(農)二島西	キャベツの収穫	鳴滝園、みんなの森、 山口就労継続支援事業所
(農)二島西	畦草刈、軽作業	みんなの森、夢かれん、 きらら夢ＫＯＢＯ
(農)二島西	キャベツ畑の草取り	夢かれん

（３）事業成果

農事組合法人二島西（以下、（農）二島西という。）は、事業開始時には利用者がどの程度の作業ができるか見極めができなかったとのことですが、作業を通じ利用者への理解が進み、現在では相互の信頼関係が構築され積極的に追加作業が委託されています。

また、複数の事業所が（農）二島西から提供された年間作業スケジュールを基に受託計画を立て、現在では（農）二島西が栽培する野菜の苗植えから出荷作業に係る各種作業に複数の事業所が通年に渡り従事しており、契約額も増加傾向にあります。

○年間を通じた作業スケジュール事例

「発注者：（農）二島西」

作業内容	時 期	受託事業所
畑の草抜き	１～６、８～11 月	夢かれん、みんなの森、 はぁと
玉ねぎの収穫	６月	夢かれん
玉ねぎの根切り・葉切り	７、８月	夢かれん
玉ねぎの選別・皮むき	７、８月	みんなの森
キャベツの収穫	12 ～３月	夢かれん、みんなの森、 はぁと
人参の収穫・選別	５、６、12、１月	夢かれん、みんなの森、 はぁと
苗箱洗浄	６、７、９、10、12 月	夢かれん、みんなの森

この他、事業所内で各種農産物を栽培している事業所においては、農作業受託が利用者の現場実践の場であることから、作業を重ねるごとに作業練度が向上し、事業所での作業効率も向上しています。

農作業の経験が無い事業所においては、農業への理解が進むとともに、利用者がグループで農作業を行うことで、利用者間での協調性や農業者との会話を通じ、社会性、積極性に改善が見受けられ、作業を重ねるごとに要領も良くなり利用者の工賃向上に寄与していると評価を受けています。

農業者側からは、高齢化が年々進行する現場において、労働力が確保できたことは今後の営農活動にとって明るい材料であり、利用者も回数を重ねることにより作業量が増えているとの評価を受けており、今後の取組の拡大を希望する農業者もいます。

なお、モデル地域内の農福連携への参加事業所は７事業所で、利用者の工賃は参加前と比較し、明らかな向上が見られる事業所もあります。

- **農作業に取り組んだ事業所利用者の工賃**

［個　人］ 2016 年１月　5,310 円　→　2017 年３月 10,120 円

○主な農業者と事業所の作業内容（３農業法人、６事業所）

農業法人	作業内容	受託事業所
山口県椎茸農業協同組合	乾燥椎茸の箱・袋詰め	山口就労継続支援事業所
個人農家	玉ねぎの植付 レタス・キャベツ・ブロッコリーの出荷	るりワークス
(農)二島西	草抜き	みんなの森、夢かれん、はあと
(農)二島西	玉ねぎの収穫 根切り・葉切り 皮剥き・選別	みんなの森
(農)二島西	キャベツの収穫	みんなの森、夢かれん、鳴滝園
(農)二島西	苗箱洗浄	みんなの森、夢かれん

他、６農業法人、５事業所、延べ８件

（4）今後の課題

雨天時の作業として、倉庫内での作業等があるものの、野外での作業が主体であることから、梅雨時期などの天候が不安定な時期では、急遽作業が中止となるなど安定した作業受託に繋がらないことが懸念されます。

このため、倉庫内でできる作業の掘り起こしや、事業所と農業者双方の事前の協議等が必要です。

また、時期によっては農業者の依頼に対し、事業所が十分に対応できない事もあるため、農作業に従事する事業所の掘り起こしが求められます。

（5）モデル事業終了後の農作業共同受託体制等

これまでの取組により､農業者からの依頼が増加することが予想されます。

その際の窓口は、山口市障害者施設共同受発注センターが行いますが、振興センターにおいても受委託に向けたサポートに努めます。

当事業により農作業に取り組む事業所や農業に理解を示す事業所は増加しましたが、受け入れ側として十分な体制とは言えないため、振興センターが関係機関と連携し、当事業で得たノウハウや事例を周知し、農福連携への参加事業所を募るとともに、農業者側と事業所側双方の関係構築を図り、利用者の工賃向上に努めます。

○　宇部地域

（1）地域の特徴及びモデル事業実施前の課題等

地域の農業の特徴としては、多くの農業法人が水稲や露地野菜を中心とする経営が主体で、北部中山間地域では、水稲、麦及び露地野菜を中心とした農業経営体となっています。

事業所は地域内各地にあり、作業受託は、宇部市障害者就労支援ネットワーク会議に所属する事業所が共同受発注窓口として、農耕補助、除草作業等を含む各種役務作業をマッチングしていますが、近年は特に草刈作業の依頼が増加しています。

農業者側の課題は、山口地域と同様に、農業法人・個人農家とも高齢化が進み、労働力不足が年々進行していることから新たな担い手の確保が緊急課題となっています。

（2）事業実施内容

○　ニーズの掘り起しとマッチング

山口地域と同様に、関係団体等で構成する農福連携推進協議会を開催し、ネットワークを構築するとともに、コーディネーターによる事業所の活動内容の聞取りや農福連携への参加意向等の把握を行いました。

併せて、農作業の掘り起こしを行い、マッチングに向けた体験作業を開催し、受委託に繋げています。

単独の事業所で実施ができない大規模な面積の草刈作業については、複数の事業所により対応する事例もありました。

また、推進協議会の中で、農業者側から「事業所がどのような事ができるか分かると依頼しやすい」との意見を受け、地域内事業所の受託可能作業が把握できるリストの作成や、農業者から 30 分圏内の事業所リストを作成しました。（P 10 参照）

○　主な体験・作業説明会（2 件、延べ 12 事業所）

農業法人	作業内容	参加事業所
(株)花の海	花・野菜ポットへの施肥、苗箱洗浄、除草等	はーとあーす勝谷、長門福祉作業センター、てご屋、きらら夢ＫＯＢＯ、星のかくれんぼ、えのうら福祉工房、ハローフレンズ、いちご、グリーンヒル山陽
(株)アグリーフプラス	ブロッコリーの出荷、草刈	グリーヒル山陽、ハイツふなき、きらら夢ＫＯＢＯ

（３）事業成果

体験作業を通じ作業受託した事業所の中には、当初の限られた農作業から利用者のスキルアップに伴い、農業法人からの依頼が各種作業へと幅が広がり、繁忙期では毎日作業に従事するなど大きな労働力となっている例もあります。

事業所の農業への理解が進むことで､安定した農作業が実施できています。

事業所からは、利用者相互の協調性や作業に取り組む積極性の改善が見受けられ、作業を重ねるごとに要領も良くなり、利用者の工賃向上に寄与しているとの評価を受けています。

農業者側からは、丁寧な作業と各種作業に対応できているとの高い評価を受けています。

また、労働力が確保できることにより、他の作業への従事が可能となることから、引き続き作業を委託したいとの意向が示されています。

なお、モデル地域内での農福連携への参加事業所は５事業所で、利用者の工賃については参加前と比較し､明らかな向上が見られる事業所もあります。

宇部地域においては、農業者と事業所の年間を通じた契約を結ぶ事例が多くみられます。

- **農作業に取り組んだ事業所利用者の工賃**

  ［個　人］　2016 年 12 月 10,227 円　→　2017 年 12 月 15,315 円

〇年間を通じた作業スケジュール事例

「発注者：(株）花の海」

作業内容	時 期	受託事業所
用土搬入	４、９、10 月	はーとあーす勝谷、グリーンファーム､W ファクトリー
洗浄（トレー等）	３～５、８～10 月	〃
トレー廃棄	３～５、８～10 月	〃
ポット土等廃棄	１～12 月	〃
草抜き	３、７、８、11 月	〃

「発注者：(株) アグリーフプラス」

作業内容	時 期	受託事業所
ブロッコリーの出荷	12 ～ 2 月	グリーンヒル山陽
草刈	4 ～ 10 月	グリーンヒル山陽、ハイツふなき

「発注者：(有) グリーンハウス」

作業内容	時 期	受託事業所
ミニトマトのパック詰め	5 ～ 7、12、 1 月	グリーンヒル山陽

「発注者：(農) 七日町営農組合」

作業内容	時 期	受託事業所
草取り	1 ～ 12 月	ワークあけぼの
屋内での準備作業	1 、 2 月	ワークあけぼの
施肥・土づくり	3 、 4 、10 ～ 12 月	ワークあけぼの
菊・リンドウ定植・管理	5 ～ 8 月	ワークあけぼの
資材撤去	9 ～ 10 月	ワークあけぼの

〇主な農業者と事業所の作業内容（4 農業法人、 4 事業所）

農業法人	作業内容	受託事業所
(株) 花の海	花・野菜ポットへの施肥、苗箱洗浄、除草等	はーとあーす勝谷
(有) グリーンハウス	ミニトマトのパック詰め	グリーヒル山陽
(株) アグリーフプラス	ブロッコリーの出荷	グリーヒル山陽
(株) アグリーフプラス	草刈	グリーヒル山陽、ハイツふなき
(農) 七日町営農組合	菊・リンドウ定植・管理	ワークあけぼの

他、 4 農業法人、 5 事業所、延べ 5 件

（4）今後の課題

農業法人からの要望が多く安定した受注が見込める草刈作業は、対応する事業所が他地域に比較して多いものの、年々増加する需要に対応できていません。

このため、今後、複数の事業所による共同作業の更なる推進や、安全衛生教育講習会（刈払機取扱業務）への事業所職員及び利用者への参加を促し、草刈作業に従事出来る事業所の拡大を図る必要があります。

受託予定であった出荷作業が、天候不順よる農作物の生育不良により縮小した事例もあるため、事業所側の柔軟な対応が求められる場合があります。

また、女性利用者の活動の場を更に増やす観点から、野外の作業場所においては、トイレの設置等、女性利用者への配慮も必要となっています。

（5）モデル事業終了後の農作業共同受託体制等

宇部市の農作業共同受託体制については、引き続き宇部市共同受発注窓口事業所が主体的に引き受けますが、振興センターにおいても受委託に向けたサポートに努めます。

また、当事業においてコーディネーターが作成した施設外就労対応状況一覧表及び地域の農業法人から 30 分圏内の事業所リスト等も活用し、受委託に繋げます。

共同受発注窓口が無い山陽小野田市では、当面の間、振興センターによる受託体制とします。

農福連携への参加に至っていない事業所に対しては、振興センターが関係機関と連携し、当該事業で得たノウハウや事例を周知し、参加事業所を募るとともに農業者側と事業所側双方の関係構築を図り利用者の工賃向上に努めます。

○宇部地域施設外就労対応状況一覧表

事業所名（電話） 利用者数 作業時間	農作業					剪定作業	清掃業務	便利屋	軽作業	事業所ＰＲ等	余力状況
	除草		苗植え	収穫運搬	出荷選別						
	草刈	草抜									
○○○○ (0836-XX－XXXX) 12 名 9：00 ～ 16：00	○	○	△	△	△	○	○	△	○	刈払機利用者（名） 職員４、利用者７ 草刈班構成（名） 職員４、利用者７ 保有機材（台） 軽トラダンプ１ 刈払機 10　　等 ・草刈、剪定作業は自信があります。	１～４月は余力がありますが、それ以外の日程は打合せが必要です。
△△△△ (0836-XX－XXXX) 10 名 9：00 ～ 16：00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	刈払機利用者（名） 職員５、利用者 10 草刈班構成（名） 職員１、利用者６ 保有機材（台） ２トントラック１ トラクター２ 刈払機 18　　等 ・草刈実績は年間○百万円、月～土ほぼ毎日５名程度従事。	１～４月は余力がありますが、それ以外の日程は打合せが必要です。
□□□□ (0836-XX－XXXX) 10 名 9：30 ～ 15：00	○	○	○	○	○	×	○	○	○	刈払機利用者（名） 職員３、利用者６ 草刈班構成（名） 職員２、利用者５ 保有機材（台） 自走式ローター１ チェーンソー１ 刈払機６　　等 ・農作業は、現在ハウスや田の耕作等の農作業に従事。	１～４月は余力がありますが、それ以外の日程は打合せが必要です。

○農業法人から 30 分圏内の事業所一覧表

（単位：km、分）

農業法人名 / 事業所名	（農）A		（農）B		（株）C		（株）D		（有）E	
	距離	時間	距離	時間	距離	時間	距離	時間	距離	時間
○○○○	9.1	18	－	－	－	－	－	－	－	－
△△△△	11	17	8.2	13	12.2	18	10.8	20	9.8	16
□□□□	9.3	14	－	－	－	－	－	－	－	－
××××	2	4	17.9	25	－	－	－	－	－	－
○△○△	4.7	10	20.6	30	－	－	－	－	－	－
△□△□	13.6	21	13.3	25	17.6	28	7.9	18	8	14
○○□□	13.6	19	3.9	10	10.9	17	8.7	19	8.9	15
△△○○	13.8	23	4.4	13	10.7	22	10	24	9.8	20
○×△×	14.3	23	10.9	19	12.3	23	3.6	13	2.7	10

農作業受託事例の紹介

本書の事例紹介では、モデル地域の農作業受託等の取組を紹介しています。
今後、農作業等の受委託を検討・実施される際の参考になれば幸いです。

◆　山口地域

1　花、野菜ポットへの名札貼り作業 …… 12
2　玉ねぎの皮剥き作業 …… 14
3　原木椎茸のホダ木撤去整理作業 …… 16
4　さつま芋の収穫作業 …… 18
5　キャベツ畑の草取り作業 …… 20
6　苗箱の洗浄作業 …… 22

◆　周南地域

7　ほうれん草の出荷作業 …… 24
8　ジャガイモの収穫補助作業 …… 26
9　食品袋への表示シール貼り作業 …… 28
10　きくらげの石づき取り作業 …… 30
11　栗の収穫作業 …… 32

◆　宇部地域

12　ミニトマトのパック詰め作業 …… 34
13　マルチシートの撤去作業 …… 36
14　ブロッコリーの出荷作業 …… 38
15　水田畦畔の共同草刈作業 …… 40
16　リンドウ畑の草取り作業 …… 42
17　花の苗の移動作業 …… 44
18　農業倉庫内の整理作業 …… 46

◆　長門地域

19　ネギ苗の植付け作業 …… 48
20　大豆畑の草取り作業 …… 50

①花、野菜ポットへの名札貼り作業

発注者：全国農業協同組合連合会山口県本部　ＪＡグリーンコアやまぐち
受託者：社会福祉法人るりがくえん　るりワークス

作業内容

店舗販売前の花や野菜のポットに名札、値札、ＰＯＰ等をホッチキスで留めていく作業です。

まず、支援員がポットの前に各札を並べ、その後利用者がポットにホッチキス留めし、陳列用の専用台にのせていきます。

支援員は､適度な休憩を挟みながら利用者の集中力が途切れないようにします。

また、専用台を売場まで移動させる作業などを入れて作業に変化を持たせ、飽きが来ないよう工夫しています。

最盛期には多量の作業量となることから、作業に精通した、ほぼ同じ利用者で作業しており、利用者も作業の要領を得て安定的な仕事ができています。

１日約 3,000 ポットに名札や値札を貼り付けます。

作業風景

名札を貼り付けている様子①

名札を貼り付けている様子②

名札を貼り付けている様子③

専用台にポットをのせた状態

○主な作業内容

注意する点

①各札をポットにホッチキスで貼り付けていく

・貼る札を間違えないよう、また見える位置に貼る

↓

②専用台にのせていく

・種類ごとにのせていく

○農業者から

・４月から作業の最盛期に入るので、１人でも多くの利用者にお願いしたいです。
・安定した作業ができており、助かっています。
・他の事業所にも作業委託をして、繁忙期を乗り切れるように検討中です。

○事業所から

・一般企業への就労に向けた訓練の場としても適当な作業内容であり、企業への就職が期待できます。
・毎年同じ作業を依頼してもらってありがたく思っています。
・作業がきちんとできる利用者が少なく、繁忙期の増員要請に対応できないため、今後の作業受託が不安です。

作業人員：支援員１名、利用者４名　計５名
作業時期：４月～５月　週５回、８月～ 10 月　週１回、9：30 ～ 16：00
障害の種類：知的障害・精神障害

②玉ねぎの皮剥き作業

発注者：農事組合法人　二島西
受託者：有限会社小川　就労継続支援Ｂ型　みんなの森

作業内容

「ベト病」の発生により、共販出荷ができなかった玉ねぎを、白剥き状態で出荷するための皮剥き作業です。

作業は、衛生面からゴム手袋を着用し、皮を剥いた後にサイズ別に選別してコンテナに入れます。

皮剥きは、玉ねぎに傷がつかないようにタオルを使って一つ一つ手作業で薄皮を剥いていきます。

白剥きにした玉ねぎは、サイズ別にコンテナに仕分けしますが、ゲージを使用することでスムーズに間違いなく選別作業ができます。

慣れない頃は、玉ねぎに傷をつけてしまい、出荷できない物も有りましたが、作業を繰り返すうちに精度も向上し、処理スピードも上がりました。

作業量は、収穫量によって３～６コンテナと日々変動します。

作業は座って行うため、立ち仕事に比べ疲労は少ないようです。

作業風景　皮を剥いでいる様子①

※利用者からは、「皮剥き作業は気持ちがいい」という感想もあります。

皮を剥いでいる様子②

ゲージでサイズを図っている様子

○主な作業内容

注意する点

①玉ねぎの皮を剥く

・タオルなどを使い、傷をつけないよう白剥きにしていく

②サイズ別に仕分け

・サイズが分からない物は、ゲージを使って選別する

○農業者から

・当初、玉ねぎにキズが入って廃棄する物もありましたが、慣れてきてきれいに剥けるようになっています。
・作業人員が多いので、作業がはかどり助かっています。
・コンテナの積み下ろしの、力仕事もやってもらえるので助かっています。
・組合作業員が、他の作業につけるので大変助かっています。

○事業所から

・共同で作業を行うため、利用者間のチームワークが向上しています。
・外部の作業を受託することにより、挨拶などの社会性の向上につながっています。
・積極的に片づける様子も増え、自発性の向上もみられます。
・皮剥き作業の中にも複数の工程があるため、幅広い利用者が作業に参加できます。

作 業 人 員：支援員３名、利用者 10 名　計 13 名
作 業 時 期：７月～８月　週２回（火、木）、10：30 ～ 12：00
障害の種類：知的障害・精神障害

③原木椎茸のホダ木撤去整理作業

発注者：井原きのこ園

受託者：社会福祉法人るりがくえん　きらら夢ＫＯＢＯ

作業内容

新しいホダ木を入れるために、廃棄が必要な 100 ～ 150 本の古いホダ木を撤去する作業です。

再利用可能なホダ木は、別の場所に移動し保管します。

所々に埋まっているホダ木は、手作業で全て掘り起こします。

利用者２名が集約場所までホダ木を運び、１名がホダ木を崩れないように積み上げていきます。

支援員は、足場が悪くホダ木も重いので転倒しないよう利用者に声掛けを行いながら作業を行います。

１時間の作業で予定していた量の撤去が完了しました。

利用者からは、森林の中での汗を流した作業だったので「気持ちがスッキリした」という感想もありました。

作業風景

ホダ木を掘起こす様子

ホダ木を撤去している様子①

ホダ木を撤去している様子②

ホダ木を撤去している様子③

○主な作業内容

注意する点

①埋まったホダ木を掘り起こす

・深く埋まっているホダ木も取り残しがないようにする

②ホダ木を運ぶ

・足場も悪くホダ木も重いので、転倒しないように作業する

③撤去したホダ木を整理（ホダ木を積み上げる）

・大量のホダ木を積むので、崩れないように丁寧に積みます

○農業者から

・力仕事を短時間でやってもらえたので助かりました。
・遠い現場でしたが、快く来てもらって有り難いです。
・作業工程の短縮につながり、作業の効率化が計れ助かりました。

○事業所から

・物の運搬作業でも、場所が変わっただけで利用者の気分も変わり、皆いきいきと作業をしています。
・天候に左右される作業なので、計画が立てにくいことがネックです。
・山での力仕事のため、男性に適した作業です。

作 業 人 員：支援員１名、利用者３名　計４名
作 業 時 期：10 月　１回、 13：30 ～ 14：30
障害の種類：知的障害・精神障害

④さつま芋の収穫作業

発注者：伊藤　様

受託者：社会福祉法人るりがくえん　るりワークス

作業内容

畑からさつま芋を掘り起こしてトラックに積み込む作業です。

午前中に１畝 80 ｍのさつま芋畑４畝から、傷をつけないように手作業で丁寧にさつま芋を掘り起こします。

土に埋もれている小さな物も取り残しのないように全て掘り起こします。

午後は、収穫したさつま芋のツルを手作業で外し、コンテナに詰めて、畑に横付けしたトラックの荷台にのせていきます。

コンテナ詰めは農家の方が女性なので、あまり重くならないように１コンテナ 10 ｋｇ程度にします。

当日は、１日で約 60 コンテナ分を収穫しました。

日陰の無い中での作業だったので、帽子、手袋、長靴を着用するとともに、支援員は利用者の体調の変化に注意しながら水分補給と適度な休憩を指示していました。

作業風景　芋を掘っている様子①

※利用者は、さつま芋が面白いように掘れるので、楽しんで作業をすることができました。

芋を掘っている様子②

芋をトラックにのせている様子

○主な作業内容

注意する点

①芋の掘り起こし

・土に埋もれている小さなさつま芋も全て掘り出す

②芋をつるから外し、コンテナに詰める

・傷がつかないよう丁寧に扱う

③コンテナをトラックまで運んで荷台にのせる

・コンテナを落とさないようにトラックまで運ぶ

○農業者から

- 終了日を伝えていれば、確実に作業をしてもらえるので、助かっています。
- 兼業農家なので、週末の労働力はありますが、平日に多くの作業をしなければならないことが続くので、依頼をしています。
- 利益が確保できる程度に作付面積を拡大し、多くの利用者に作業委託ができるように検討しています。

○事業所から

- さつま芋以外の収穫作業等の依頼もいただき有り難く思っています。
- 利用者も外での作業でいきいきとしています。
- 力仕事もあるので、若年層の利用者の増員が必要です。
- 単純作業のため、幅広い利用者が作業に参加できます。

作 業 人 員：支援員２名、利用者２名　計４名
作 業 時 期：通年　週１回、9：30 ～ 15：00
障害の種類：知的障害・精神障害

⑤キャベツ畑の草取り作業

発注者：農事組合法人　二島西

受託者：有限会社小川　就労継続支援Ｂ型みんなの森

作業内容

１畝 100 ｍのキャベツ畑に生えた草取り作業です。

利用者の負担感の軽減を図るため、３ヶ所に分かれて全員で草取りをします。

草は畑の全面に生えていますが､草丈が短く土も柔らかいため､抜きやすくなっています。

注意点は、隣の畝が近いのでキャベツを踏まないようにすることと、キャベツの根元周辺の草は、キャベツの葉を傷めないように抜くことです。

抜いた草は袋に詰め、袋が一杯になったら畑の端まで運びます。

草の回収は作業後に法人が行います。

暑い中での作業だったので、支援員は熱中症対策として、利用者に水分補給と適度な休憩を指示し、体調管理をしました。

利用者は、広い畑の中でのびのびと作業に従事していました。

作業風景

作業前の様子

草を抜いている様子①

草を抜いている様子②

草を抜いている様子③

○主な作業内容

注意する点

①草を抜く

・キャベツの葉を傷つけないようにする

②抜いた草を袋に詰める

・抜いた草は放置せず残らず袋に入れる

○農業者から

・組合員だけでは作業が追いつかないので助かっています。
・組合員を他の作業につけることができます。
・利用者に十分な休息を与え、体調管理を心がけた作業をお願いします。
・可能な限り作業のスピードアップをお願いします。

○事業所から

・参加利用者が相手への気遣いができるようになりました。
・積極的に仕事に取り組むようになっています。
・単純作業で力の必要のない作業なので、女性を含む幅広い利用者が作業に参加できます。

作業人員：支援員３名、利用者７名　計 10 名
作業時期：８月～ 11 月、１月～３月　週２回（火、木)、10：30 ～ 12：00
障害の種類：知的障害・精神障害

⑥苗箱の洗浄作業

発注者：農事組合法人　二島西
受託者：社会福祉法人山家連福祉事業会　夢かれん

作業内容

玉ねぎの苗箱と玉ねぎのトレイを機械と手作業で洗浄する作業です。

苗箱は、専用機械による作業が可能ですが、薄く柔らかいトレイはブラシを使う手作業で行うため、洗浄時間は苗箱の倍程度かかります。

苗箱の洗浄は、一人が専用機械に汚れた苗箱を差し込み、もう一人が洗浄済みの苗箱の水を切り、積み重ねます。（１分間に４～５箱洗浄）

トレイの洗浄は、一人が積み重なったトレイを剥し、もう一人が剥したトレイをバスタブに浸け、ブラシを使用してトレイの表面と裏面に付いている汚れを落とし、水を切って積み重ねます。

苗箱の洗浄は、機械を使用するので体への負担が少ないものの、トレイの洗浄は、バスタブの位置が低く中腰で行うことから腰に負担がかかり大変です。

○主な作業内容

注意する点

苗箱の洗浄

①機械を使って洗浄

・機械に手を挟まないよう注意する

②洗浄後にパレットへ積み上げ

・乾きやすくするため、水を切る

注意する点

トレイの洗浄

①トレイを剥す

・素材が薄いので丁寧に剥します

②バスタブで洗浄し積み上げ

・トレイの穴を重点的に洗います

○農業者から

・全ての作業を効率良く丁寧にしていただいているので助かっています。
・こちら側が考えているより早く作業が終了するので、毎回驚いています。
・どんな作業をお願いしても、どうしたら早くできるか工夫されています。
・支援員の指導力を毎回痛切に感じています。

○事業所から

・複雑な作業が少なく、多くの利用者が安心して作業することができます。
・法人の障害に対する理解があり、時間内のノルマもないため、利用者がストレスを感じることもありません。
・利用者に合った作業メニューを定期的に提供していただいており、安定した収入を得ることで工賃を安定して支払うこともできています。

作 業 人 員：支援員２名、利用者６名　計８名
作 業 時 期：通年　火、木、　9：30 ～ 11：30、13：20 ～ 14：40
　　　　　　　　　月、水、金、13：00 ～ 14：40
障害の種類：知的障害・精神障害

⑦ほうれん草の出荷作業

発注者：ふくぷくファーム株式会社
受託者：社会福祉法人鹿野福祉会　ふれあい作業所鹿音（かのん）

作業内容

ほうれん草の体裁を整え、箱詰めして出荷する作業です。

朝、収穫したほうれん草を午後に出荷するため、午前中に作業を行います。

まず、ほうれん草の根の部分をハサミでカットし、規格より小さい葉や大きくなりすぎた葉は作業机に張り付けたテープの長さを参考にして取り除きます。

その後、機械を使い袋詰めし、出荷用の段ボール箱に詰めます。

作業に際し、事前に利用者に取り除く根や葉のサンプルを示し、作業の習得に努めています。

作業に慣れるまで少し時間がかかりましたが、利用者は淡々と作業に取り組んでいます。

このほかハウス内でほうれん草の収穫作業も手伝います。

作業風景

作業場の様子

根をカットしている様子

カット後のほうれん草

機械を使って袋詰めする様子

○主な作業内容

注意する点

①ほうれん草の体裁を整える

・ハサミで怪我をしないように根を切り、机に貼ったテープの長さに合わせて全体の体裁を整える

②専用機械での袋詰め

・従業員が専用機械で袋詰めをします

③箱詰め

・向きや数量に注意します

○農業者から

・人手不足の解消になって助かっています。
・事業所が近いため、急な作業も対応してもらって助かっています。

○事業所から

・事業所から作業場までの距離が近くて助かっています。
・利用者の作業の習得に向けた事前の指導に丁寧に取り組む必要があります。
・利用者に応じて適度な休憩時間を取るなど、緊張した利用者への配慮が必要です。
・正確性とスピードが求められる作業なため、細かい作業が得意な利用者に向いた作業です。

作 業 人 員：支援員１名、利用者２名　計３名
作 業 期 間：通年　週２回、　10：00 ～ 12：00
障害の種類：精神障害

⑧ジャガイモの収穫補助作業

発注者：株式会社　エコファーム山口
受託者：社会福祉法人大和福祉会　周南あけぼの園

作業内容

１畝 10 mのジャガイモ畑 10 畝からの収穫作業です。

初めに農場職員がトラクターでジャガイモを荒掘りし、その後、利用者が手作業で取り残しがないように全て掘り出します。

中には表層に出ていないジャガイモもあることから、手で土の中を探って確認をします。

掘り出したジャガイモは、農場職員がトラックに積み込みやすいように畑の数ヶ所に集めて作業が終了となります。

利用者は、初めての農作業であったことから楽しく作業をしていました。

日陰のない中での作業だったので、支援員は、利用者の体調の変化に注意しながら水分補給と適度な休憩を指示していました。

また、安全確保のため作業中のトラクターに近づきすぎないよう注意しながら作業を行いました。

作業風景　トラクターでジャガイモを荒堀している様子

ジャガイモを掘出している様子①　ジャガイモを掘出している様子②

○主な作業内容

注意する点

①ジャガイモを集める

・土の中に取り残しがないか確認する

②一箇所にまとめる

・トラックにのせやすいように所々に集める

○農業者から

・大勢の利用者に作業に従事してもらい、早く収穫ができました。
・次の作業もお願いしたいと思っています。
・費用の削減を図ることができました。
・社会貢献は企業責務でもあるため、今後も作業委託を続けていきたいと考えています。

○事業所から

・初めての農作業でしたが、指導していただき、利用者にもできることが理解できました。
・ジャガイモの収穫作業は簡単で、多くの利用者ができる作業でした。
・農作業を体験したい女性利用者がいましたが、トイレが無いので作業に連れていけなかったことが残念です。
・単純作業のため、幅広い利用者が作業に参加できます。

作 業 人 員：支援員２名、利用者６名　計８名
作 業 時 期：７月　１回、 10：00 ～ 15：00
障害の種類：知的障害・精神障害

⑨食品袋への表示シール貼り作業

発注者：有限会社　鹿野ファーム

受託者：社会福祉法人鹿野福祉会　ふれあい作業所　鹿音（かのん）

作業内容

食品用の袋に表示シールを貼る作業です。

支援員が利用者に食品を入れる袋にシールを貼る位置と、どのシールをどの袋に貼るかを指示し、利用者は、添付前にシールを確認して作業に入ります。

作業は、シールを袋の同じ位置に同じ向きで貼っていくことや、貼り忘れがないように確認しながら行います。

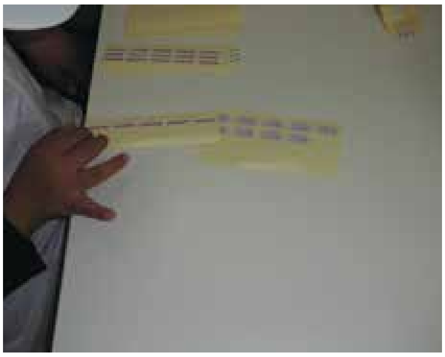
商品によっては、大小２枚のシールを貼るものもあるので貼る位置を間違えないよう作業を行います。

１日の作業量は、約 1,500 ～ 2,000 枚のシールを貼ります。

作業は、一見簡単そうに見えますが集中力が必要なことから適度な休憩を入れて行います。

また、作業現場の鹿野ファームの事務所は、事業所の近くにあり、室内での作業のため、雨天に関係なく作業ができて助かっています。

作業風景　シールを確認した後に指定場所にシールを貼っている様子



○主な作業内容

注意する点

①シールを貼る

・貼る位置とシールの向きに注意しながら貼る

②貼り忘れがないか確認

・貼り忘れがないか再確認する

○農業者から

・従業員が他の作業に従事できるので助かっています。
・根気強く作業をやってもらっています。
・当初の想像より多くの作業をこなして頂いています。
・更に効率よく作業に取組んでもらえるよう事前準備、作業計画をしっかり行いたいです。

○事業所から

・事業所から作業場までの距離が近くて助かっています。
・室内の静かな作業環境なので、利用者は作業に集中できています。
・支援員が横について指導しているので、利用者もスムーズに作業をこなせます。
・根気強く作業ができる利用者なら障害に関係なく作業ができます。

作 業 人 員：支援員２名、利用者３名　計５名
作 業 時 期：通年　週２回　（木、金）、13：00 ～ 15：00
障害の種類：知的障害・精神障害

⑩きくらげの石づき取り作業

発注者：株式会社　サンピット

受託者：特定非営利活動法人キセキ　みなくるはうす光

作業内容

委託先からきくらげを事業所へ持ち帰り、事業所内で作業を行い、夕方に納品しています。

作業を始める前には、ゴミ等が混入しないように、粘着ローラーで衣服のごみを除去し、手洗い後にゴム手袋を着用して作業を行います。

利用者は、きくらげの石づき部分をハサミで１枚ずつ石づきが残らないように確認しながら取っていきます。

作業当初は、慣れない作業であることから石づきを取り過ぎてはいけないと思い、ゆっくりカットして時間がかかっていましたが、今では回数をこなし作業も早くなりました。

作業が事業所内でできる事から利用者はリラックスして作業ができます。

２時間の作業で５ｋｇ入のコンテナを２コンテナ処理します。

作業風景

作業前のきくらげ

石づきをカットしている様子①

石づきをカットしている様子②

石づきをカットしている様子③

○主な作業内容

注意する点

①石づきをハサミでカット

・手を怪我しないよう、石づきが残らないよう作業をする

②石づきが取れているか確認

・カットした後、石づきが残っていないか再確認する

○農業者から

・今後、生産量が増えるので、多くの利用者に作業をお願いしたい。
・石づきの切り過ぎは構いませんが、残さないようにお願いします。

○事業所から

・利用者の能力に応じて作業の精度等を求める負荷をかけ、利用者の社会性の向上に繋げています。
・今後、事業所の柱の１つになる仕事にしていきたいと思います。
・最盛期には、先方の作業場で、カット作業以外の仕事も予定しています。
・毎日の作業であるため、他の緊急作業が入った場合は、調整が必要となります。
・ハサミの使用が可能な利用者であれば、障害の種類に関係なく作業ができます。

作 業 人 員：支援員１名、利用者２名　計３名
作 業 時 期：４月～ 10 月　週５回、　２時間程度
障害の種類：知的障害・精神障害

⑪栗の収穫作業

発注者：河内山　様

受託者：特定非営利活動法人キセキ　みなくるはうす光

作業内容

栗園に落ちている栗をコンテナに集める作業です。

作業は、２人１組で火バサミと買い物かごを持って収穫作業を行います。

イガ入りの栗はそのまま収穫し、イガから出ている栗は、虫食いの有無を確認して良い物のみを収穫します。

作業上の注意点は、品質に直接影響する虫食いの有無の確認をしっかり行うことと、急斜面が多く滑りやすいので、栗が入ったコンテナを運ぶ際には転倒しないように注意することが必要です。

担当した作業エリアは、発注者の御配慮により比較的収穫作業がし易い場所で作業を行いました。

収穫量は、３日間で 270 ｋｇ程度でした。

作業時間が１時間であることから、利用者もレクリエーション感覚で楽しく作業をしていました。

作業風景　落ちた栗を火バサミを使って収穫している様子

○主な作業内容

注意する点

①虫食いのチェック

・イガ入りの栗はそのまま、イガから出ている栗は１個ずつ確認して収穫する

②コンテナに集める

・入れすぎて重くならないようにする

○農業者から

・利用者に楽しく作業していただいて良かったです。
・できれば毎日でも作業をして欲しかったです。
・栗の加工品を作ることを検討しているので、できればその時、手伝いをお願いしたいです。
・来年も収穫作業をお願いしたいです。

○事業所から

・利用者の能力に応じて作業の精度等を求める負荷をかけ、利用者の社会性の向上に繋げています。
・急斜面で滑りやすい所もあることから注意が必要です。
・安全確保の観点から、雨の翌日は作業を順延します。
・利用者も楽しく作業に従事できたことから、来年も収穫作業を受けたいと思います。
・単純作業であることから、幅広い利用者が作業に参加できます。

作 業 人 員：支援員３名、利用者５名　計８名
作 業 時 期：10 月　３回、 10：30 ～ 11：30
障害の種類：知的障害・精神障害

⑫ミニトマトのパック詰め作業

発注者：有限会社　グリーンハウス
受託者：社会福祉法人山陽小野田市社会福祉協議会
障害者福祉サービス事業所　グリーンヒル山陽

作業内容

生産者がミニトマトをサイズ別に選別した後に不良品を除いてパック詰めする作業です。

作業に従事する支援員及び利用者は、衛生管理に努めるため、手袋を着用して作業を行います。

利用者は、生産者の作業倉庫内でサイズ別に選別されたミニトマトの汚れを１個１個タオルで丁寧に汚れを拭き取り、キズの有無を確かめ、選別します。

キズの無い良品は、電子秤で計量しながら定められた重量をパックに詰めた後に、支援員の手で出荷用のダンボールに丁寧に入れていきます。

作業上の注意点は､キズの見落としが無いように一個一個確認することと､パック詰め作業は、定められた重量を下回らないように行うことが重要です。

一日の作業量は日によって収穫量で変動しますが、２時間で約 150 パックできます。

作業風景　ミニトマトの拭き取り後に計量・パック詰め作業の様子

※作業場が静かな環境なため、利用者は集中して作業に従事できます。

○主な作業内容

注意する点

①拭き取り後にキズの有無を確認

・汚れが残らないようキレイに拭き、キズの有無を確認

↓

②計量

・グラム数を間違わないよう計量

↓

③箱入れ（支援員）

・丁寧に箱入れする

○農業者から

・従業員が他の仕事に従事できるので、助かっています。
・今後、作業場を広くして、複数の事業所の多くの利用者さんに作業をしてもらえるように考えています。

○事業所から

・回数を重ね、慣れることで作業のスピードが上がり、処理量が増えています。
・室内作業のため、雨天時でも安定した作業ができて助かっています。
・計量作業ができる利用者であれば作業に参加できます。

作 業 人 員：支援員１名、利用者４名　計５名
作 業 時 期：12 月～６月　週５回、　10：00 ～ 15：00
障害の種類：知的障害

⑬マルチシートの撤去作業

発注者：農地所有適格法人 株式会社　花の海
受託者：社会福祉法人さわやか会　多機能事業所はーとあーす勝谷

作業内容

農作物の収穫後、次の農作物の生産に邪魔な畑に残ったマルチシートを手作業で撤去します。

作業範囲は、マルチシートが埋まっている10畝（1畝50ｍ）が対象です。

一部土に埋まったシートは劣化が進んでおり、剥そうとするとすぐにちぎれてしまいます。

手作業で土を除けながらシートを剥していきますが、集中力と根気が必要な作業なので、支援員は声掛けや適度な休憩を入れながら利用者の集中が途切れないようにします。

剥したシートは、取り残しがないように全て袋に詰め、所定の場所に集めて作業終了となります。

作業風景　土に埋まったシートを剥して袋に回収している様子

※利用者は、終始のびのびと作業に従事していました。

○主な作業内容

注意する点

①マルチシートを剥す

・土の中に取り残しがないように注意

②剥したマルチシートをゴミ袋に詰める

・集め忘れがないよう残さず袋詰め

③ゴミ袋を回収する

・袋の集め忘れがないように注意

○農業者から

・丁寧な作業をしていただいているので助かります。
・屋外作業が多いので、服装に気をつけて体調管理をしてほしいです。

○事業所から

・多種の作業に対応できる利用者の確保が今後の課題です。
・利用者のモチベーションが維持されるよう、ペース配分を考えながら実施しています。
・怪我防止のため、肌の露出が少ない服装で作業に従事しています。

作 業 人 員：支援員１名、利用者５名　計６名
作 業 時 期：通年、作業日及び作業内容はその都度変更
週２回、　10：30 ～ 15：00
障害の種類：知的障害

⑭ブロッコリーの出荷作業

発注者：株式会社　アグリーフプラス

受託者：社会福祉法人山陽小野田市社会福祉協議会
　　　　障害福祉サービス事業所　グリーンヒル山陽

作業内容

作業場前までトラックで運ばれたブロッコリーの入ったコンテナを２名１組で作業場内に運び、茎のカット作業と出荷用ダンボールの組立作業を行います。

カット作業は、コンテナから取り出したブロッコリーをカットしやすいように向きをそろえてカット担当の利用者の手元に置きます。

カット担当者は、ブロッコリーを傷めないように茎の上部を持って専用カッターで茎をカットします。

他の利用者は、その日に使用する出荷用ダンボール箱を組立て、ダンボール箱にサイズ別のスタンプを押してブロッコリーの箱入れ作業の準備を行います。

カット済みのブロッコリーは、従業員がサイズ別に箱入れを行い、利用者全員でトラックへの積込みを行い、その後、作業場を清掃して作業が終了します。

今回は、２時間で 45 箱の出荷作業を行いました。

作業風景

作業場に搬入する様子

カットしている様子

トラックにのせて出荷する様子

作業場を清掃している様子

○主な作業内容

注意する点

①カット担当者に手渡す

・カットし易いように向きをそろえて渡す

②専用カッターでブロッコリーの茎をカットする

・ケガをしないよう、又、ブロッコリーは茎を持ってカット

③箱詰め（生産者対応）出荷準備

・従業員による箱入後、箱を閉めて出荷に備える

○農業者から

・手際よく作業をしてもらっているので助かっています。
・利用者がどこまで作業ができるのか不安もありましたが、期待以上でした。
・天候に左右される作業なので、急いで仕事をしてもらうこともあります。
・利用者の内１人は、いつも同じ人でお願いしたいです。

○事業所から

・農業者側が、利用者をやさしく理解して下さり、利用者も楽しんで作業しています。
・今後も、作業受託をしていきたいです。
・作業の種類に幅があるので、幅広い利用者が作業できます。

作業人員：支援員１名、利用者２名　計３名
作業時期：12 月～２月　週５回、　10：00 ～ 12：00
障害の種類：知的障害

⑮水田畦畔の共同草刈作業

発注者：農事組合法人　あいのう木田
受託者：社会福祉法人千花千彩　緑豊舎
　　　　社会福祉法人扶老会　障害福祉サービス事業所ハイツふなき

作業内容

５月及び９月に各１回、農事組合法人が所有する水田畦畔の草刈を行います。

草刈面積が 3.4ha と広いことから、２事業所が共同して各回とも１週間で実施しました。

作業効率を図るため、最初は平坦部分を３台の自走式刈払い機を使用し、並行して傾斜のある畦畔を刈払い機で作業します。

今回は雨天により作業が遅れたことから、増員して予定内での終了を目指しました。

刈払い機免許のある支援員と利用者で草刈を行ないますが、免許を持っていない利用者は、水路に落ちた草を熊手を使って引上げる作業を担当します。

暑い中での野外作業なので、熱中症予防対策として、適度な休憩と水分補給を取るように注意して作業を行います。

作業風景

草刈の様子①

草刈の様子②

草刈の様子③

溝に落ちた草を上げている様子

○主な作業内容

注意する点

①水路側畦畔の草刈

・足元に注意しながら短くそろえる

②田側畦畔の草刈

・田に刈り取った草が落ちないように刈り取る

③水路に落ちた草の引上げ

・水路に落ちた草は、取り残しのないよう引上げる

○農業者から

・作業を受託してもらって作業の軽減が図れ、大変助かっています。
・想定以上に丁寧な作業をしていただいた。
・今後も是非継続して作業依頼を行いたい。

○事業所から

・暑い日の作業は、利用者の体調管理への注意が必要です。
・利用者間のチームワークが向上しています。
・外部の方と関わることにより、挨拶など社会性の向上に繋がっています。
・障害の種類に関係なく作業ができます。
・ほ場に草が落ちないように刈り取るのが大変です。
・斜面比率が高い場所での作業は、身体への負担がやや大きいです。

作 業 人 員：緑豊舎　　　　支援員１名、利用者５名　計６名
　　　　　　ハイツふなき　支援員４名、利用者 10 名　計 14 名
作 業 時 期：５月、９月　各１回、 ９：00 ～ 16：00
障害の種類：知的障害・精神障害

⑯リンドウ畑の草取り作業

発注者：農事組合法人　七日町営農組合
受託者：特定非営利活動法人あけぼの会　ワークあけぼの

作業内容

３畝、約７ａの圃場に植えてある約９千本のリンドウ苗の根元周辺の草抜き作業です。

畝には、全面マルチシートが掛けられており、直径約 10 ㎝の穴の空いた部分にリンドウの苗が植えられていますが、根元に生える雑草の生育が早いため、頻繁に草抜き作業が必要です。

土が柔らかいので草は抜き易いものの、リンドウの苗と雑草を見極めて抜くことや、リンドウの葉を傷めないように丁寧に作業する必要があります。

リンドウの栽培は、法人が昨年、小規模の面積で試験的栽培を行い、労働力が確保できれば取り組めると判断され、今年から面積を７ａに拡大し、事業所に各種作業を委託しています。

暑い中での作業だったので、支援員は熱中症対策として利用者に水分補給と適度な休憩を指示し体調管理をします。

作業風景　草取りの様子①

※抜いた草は、根の土を落として
畝の外に廃棄します。

草取りの様子②

草取り後の根元周辺

○主な作業内容

注意する点

①雑草の見極め

・リンドウと雑草を間違えないようにする
（左側が雑草）

②草を抜く

・リンドウの葉を傷めないように丁寧に雑草を抜く

○農業者から

・リンドウは、手作業に頼る作業が多く手伝ってもらって助かっています。
・リンドウの栽培面積の拡大は、事業所抜きではできませんでした。
・リンドウ以外に菊栽培の補助もお願いしていますが「土づくり」、「育苗」、「資材設置・撤去」、「草取り」等、毎回違う作業を行ってもらっています。
・個人差はありますが、力仕事もしてもらい助かっています。

○事業所から

・リンドウの生育が遅いため、雑草との見極めが難しい。
・雨が降っても倉庫内でできる何らかの仕事を準備していただいており、大変助かっています。
・炎天下の作業ですが、作業時間が２時間と限定されていることから、利用者も集中して作業に取り組め、長続きしています。

作 業 人 員：支援員１名、利用者３名　計４名
作 業 時 期：通年　週１回（火）、9：30 ～ 11：30
障害の種類：知的障害・精神障害

⑰花の苗の移動作業

発注者：農地所有適格法人 株式会社　花の海
受託者：社会福祉法人さわやか会　多機能事業所はーとあーす勝谷

作業内容

１棟 5,400 ㎡の温室内のベンチ（生育棚）上にあるポット苗の成長に合わせた苗間隔の確保のため、トレイを他エリアに移動する作業です。

利用者は、トレイをベンチ上を滑らしてベンチの端まで運び、２輪車や台車にのせ運び、移動先のベンチ口で支援員に渡し、これを支援員がベンチの奥から詰めて置く作業を繰り返します。

作業上の注意点は、苗の葉を傷つけないようにすることと、２輪車や台車で運ぶ際にポット苗を落とさないようにゆっくり運ぶことが重要です。

２輪車による運搬は、沢山のせることができますが、１輪車より扱いが難しくちょっとしたコツが必要です。

今回の作業は、３列のベンチにある約 12,500 ポットを移動させました。

作業風景　トレイを運び出す様子

トレイが運び出されたベンチ風景

移動先ベンチでトレイを渡す様子

ベンチ奥にトレイを運んでいる様子

○主な作業内容

注意する点

①苗を通路まで運び２輪車に丁寧にのせる

・２輪車にバランス良くのせる

②２輪車で移動先に運ぶ

・トレイを落とさないようにゆっくり運ぶ

③移動先のベンチに載せる

・苗の受け渡しは丁寧に行う

○農業者から

・丁寧な作業をしていただいているので助かります。
・作業の幅が広がれば、もっとお願いしたい作業があります。

○事業所から

・多種の作業に対応できる利用者の確保が今後の課題です。
・農園内において、車両との衝突や作業中の事故に遭わないよう絶えず注意喚起をしています。
・作業は、商品を扱う意識を持ってもらうように丁寧さを第一に指導し、効率よく作業するよう工夫しています。また、協調性、自主性が育成できるように指導しています。

作 業 人 員：支援員１名、利用者３名　計４名
作 業 時 期：通年、作業日及び作業内容はその都度変更
週３回、　10：30 ～ 15：00
障害の種類：知的障害

⑱農業倉庫内の整理作業

発注者：農事組合法人　七日町営農組合

受託者：特定非営利活動法人あけぼの会　ワークあけぼの

作業内容

外作業ができない日は、農業倉庫内作業を行います。

今回の作業は、当面の間使用しない、自走できない農機具を農業倉庫に収納する作業と倉庫内の整理を行いました。

始めに移動の邪魔になる倉庫内の段ボール箱を潰し、移動スペースを確保した後に、倉庫外に有る農機具を手で押して倉庫奥から詰めて収納します。

大小の農機具は、それぞれにタイヤが付いているので、２～４人で押せば移動が可能です。

支援員は、移動の際、利用者が手を農機具と壁の間に挟まないように、また、足をタイヤに踏まれないよう声を掛けながら一緒に作業を行います。

床に落ちた泥やゴミは、農機具を全て移動した後では、集めることができないことから、途中作業を中断し、全員で竹ぼうきを使ってゴミ掃きを行います。

最後に倉庫内にある農業資材の整理整頓を実施し、作業を終えました。

作業風景　倉庫内の移動スペースを確保し、農機具を移動する様子

○主な作業内容

注意する点

①収納スペースの確保

・床を占有している段ボール箱を潰し、収納スペースを確保

②農機具の移動

・移動スペースの床清掃後に農機具を移動
・壁と農機具の間に手を挟まないように注意

③農機具の収納

・壁と農機具の間に人が通れるスペースを確保

○農業者から

・農機具の収納は、１人ではできないので手伝ってもらって助かります。
・雨天時には、室内作業を準備しています。

○事業所から

・雨が降っても何らかの仕事を準備していただいており、大変助かります。
・利用者がケガをしないよう絶えず声掛けをしています。
・農業倉庫内での作業は、水道とトイレがあるので助かります。

作 業 人 員：支援員１名、利用者３名　計４名
作 業 時 期：通年　週１回（火）、9：30 ～ 11：30
障害の種類：精神障害

⑲ネギ苗の植え付け作業

発注者：有限会社　どんぐり農場

受託者：特定非営利活動法人キュアポート　就労継続支援施設キュアポート

作業内容

水溶液を貯めた育苗棚に浮かしてある穴の空いたパネル（48穴）にスポンジに活着したネギ苗を押し込む作業です。

ハウス内での水耕栽培のため、雑菌をハウス内に持ち込まないよう、作業前の手洗い消毒を徹底し、ゴム手袋を着用して作業を行います。

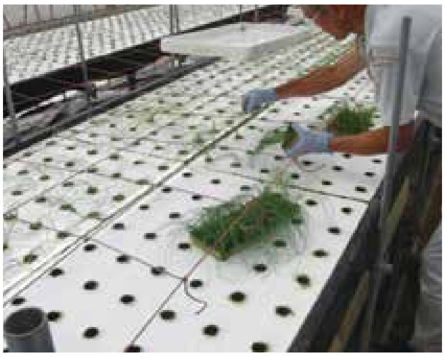
１日の作業目標は、１列４０ｍの棚に設置した苗床（94パネル）を２列植え付けます。（総数約9,000苗）

作業での注意点は、１つのスポンジに活着した苗が少ない場合、５本程度となるよう２つのスポンジ苗を植え付けることと、植え付ける際に苗の先が隣の穴に架からないように作業すること、スポンジをパネルにしっかり押し込むことの３点が重要です。

支援員は、利用者が身体的・精神的に安定した状態で作業が行えるように、こまめな休息を取りながら作業を行います。

作業風景　スポンジ苗をパネルの穴に植え付けている様子

※作業終了後のミーティングの場において疑問点などを農場職員から聞取り、次回の作業に反映させます。



○主な作業内容

注意する点

①苗を奥側の穴から植える

・苗の先が隣の穴に入らないよう、苗を縦になびかせて奥から植える

②苗を適量植える

・苗は、５本程度になるように、また、スポンジをしっかり押し込む

○農業者から

・依頼している量をこなして頂いており、非常に助かっています。
・夏場は、苗の成長が早いことから、週２日の作業をお願いしたい。

○事業所から

・苗の良否で作業効率が大きく変わります。
・夏場の作業は、ハウス内の室温が高いため、こまめな休息が必要です。
・作業に慣れた利用者は支援員と同程度の作業ができますが、経験が少ない利用者の作業量は３分の１程度です。
・利用者は淡々と作業に従事しています。

作 業 人 員：支援員２名、利用者６名　計８名
作 業 時 期：通年　週１回（木)、9：30 ～ 14：00
障害の種類：精神障害

⑳大豆畑の草取り作業

発注者：農事組合法人　浅井

受託者：特定非営利活動法人さざんか　ハピネスさざんか

作業内容

約 15 ａの大豆畑（２筆）に生えた広葉雑草の草取り作業です。

作業は、畝間に１人づつ入り左右の雑草を抜いていきます。

草は大豆の畝全面に生えていますが、土が柔らかいため、抜きやすくなっています。

大豆の根元周辺の草を抜くときは、大豆の葉や茎を傷めないように注意しながら作業しました。

抜いた草は、土を落として畝間に縦に置きますが、草の量が多い場合は畦まで運んで置きます。

暑い中での作業だったので、支援員は熱中症対策として利用者に水分補給と適度な休憩を指示し、体調管理をしました。

最後に雑草の抜き忘れがないか再度確認して作業終了となります。

作業風景

雑草が生えている様子

草取りの様子①

草取りの様子②

除草後の圃場風景

○主な作業内容

注意する点

①草を抜く

・大豆の葉や茎を傷つけないようにする

②抜いた草を畝間に置く

・抜いた草は、大豆にかからないよう畝の間に置く

○農業者から

・思っていた以上にきれいに作業してもらいました。
・マムシの被害を懸念していましたが、出なくて安堵しました。

○事業所から

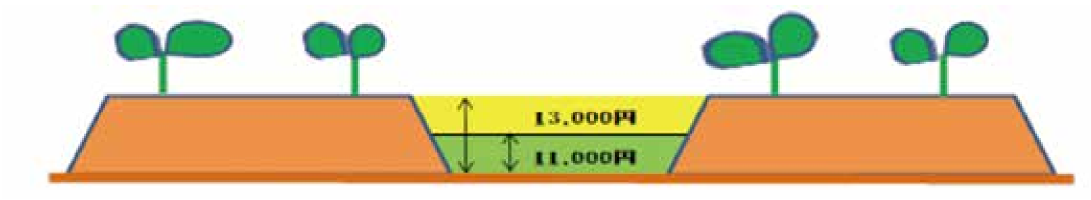
・大豆の圃場が事業所から近くて助かっています。
・９月の作業は、まだ暑い時期なので契約期間を長く取っていただきました。
・どの程度の草を抜くか判断が困難であったことから、全ての草を抜き結構大変でした。
・利用者は淡々と作業に従事しています。

○大豆畑の除草に係る報酬案の策定

・今回、大豆畑の草取りを行うにあたり、地域に指標となる報酬額の設定が無かったことから、今回の作業データを基に関係機関と協力し、10 a 当たりの報酬額（案）を策定しました。
・報酬額（案）の策定にあたっては、除草時期及び除草した草の量で５段階に区分しました。（Ｐ 52 参照）また、夏季においては、高温で作業効率が落ちることから、夏季加算も設定しました。

○長門地域の事業所を想定した大豆除草作業における基本ベース的報酬案

作業時期	８月～ 10 月（～収穫期）	
除草対象	大～小の草（収穫期直前においては、畝より高い草とする）	
作業内容	①除草方法は、手抜きにより行い、雑草の根の土を落として畝間の溝に倒す。（収穫期直前においては、鎌等も使用。） ②抜いた草が溝に収まらない場合は、畦まで移動させる。	
工賃（10 ａ）	８月期は、高温で作業効率が落ちることから加算	2,000 円 /10 ａ加算
	抜いた草が溝の半分以下に概ね収まる場合	11,000 円（下図）
	抜いた草が畝の高さ以下に概ね収まる場合	13,000 円（下図）
	抜いた草が溝に収まらない列が約１割程度の場合	13,000 円の１割加算（14,300 円）
	抜いた草が溝に収まらない列が約２割程度の場合	13,000 円の２割加算（15,600 円）
	抜いた草が溝に収まらない列が約３割以上の場合	13,000 円の３割加算（16,900 円）



※畝間の溝に倒す草の量で工賃を判断。

作 業 人 員：支援員５名、利用者９名　計　14 名
作 業 時 期：９月、２回　９：00 ～ 11：15
障害の種類：精神障害

農福連携マルシェの取組

農業を行う事業所の工賃向上を実現するには、安定した農産物の生産や加工品の製造だけではなく、安定して売上が見込まれる販路の確保が必要です。

また、障害者自らが生産した農産物を直接販売するなど、積極的に社会とかかわっていくことは、障害者の社会参加を推進する上で非常に重要です。

このため、県内の事業所の生産した農産物、加工品等を集めた大規模な販売会を開催し、多くの県民に障害者施設の生産した農産物等の PR を行い、販路拡大を支援しました。

○　取組内容

【平成 28 年度】

開催期間：平成 29 年 1 月 27 ～ 29 日
開催場所：(株) フジグラン宇部
参加事業所：16 事業所
売上実績：630,300 円

【平成 29 年度】

開催期間：平成 30 年 1 月 6 ～ 8 日
開催場所：おのだサンパーク
参加事業所：18 事業所
売上実績：801,000 円

○　取組成果

- 利用者が自分たちの生産した農産物を販売し、売れた時の感動が今後農作業する励みになり自信に繋がっています。
- 店舗入口において来店客へのチラシ配りなどで、人と関わり、社会との関わりもできました。
- マルシェ２年目の平成29年度においては、出品した事業所も増加し、売上額においても前年度を上回り、期待以上の成果がありました。
- マルシェが農産物の販路の一つとして新たに追加されたことから、生産量の拡大が見込めます。
- このことから、次年度以降においても参加事業所と売上額の拡大が期待されます。

事例集に協力いただいた事業所一覧

事 業 所	所 在 地	電話番号
社会福祉法人るりがくえん るりワークス	山口市鋳銭司 812-1	083-986-2074
有限会社小川 就労継続支援B型　みんなの森	山口市下小鯖 2698 番地 1	083-941-6859
社会福祉法人るりがくえん きらら夢KOBO	山口市宮野上 783	083-921-2044
社会福祉法人山家連福祉事業会 夢かれん	防府市大字台道 3527 番地 9	0835-32-1155
社会福祉法人鹿野福祉会 ふれあい作業所鹿音（かのん）	周南市大字鹿野上 2755 番地 1	0834-68-4100
社会福祉法人大和福祉会 周南あけぼの園	周南市大字久米 716-4	0834-39-3755
特定非営利活動法人キセキ みなくるはうす光	光市中央５丁目１番 21 号	0833-48-9390
社会福祉法人山陽小野田市社会福祉協議会障害者福祉サービス事業所 グリーンヒル山陽	山陽小野田市大字厚狭 1723-2	0836-73-2953
社会福祉法人さわやか会 多機能事業所はーとあーす勝谷	下関市東勝谷 1-4	083-263-0230
社会福祉法人千花千彩　緑豊舎	宇部市大字車地 636 番地 2	0836-62-5355
社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業所 ハイツふなき	宇部市大字船木 833-21	0836-67-0188
特定非営利活動法人あけぼの会 ワークあけぼの	山陽小野田市大字厚狭 415-1	0836-72-3071
特定非営利活動法人キュアポート 就労継続支援施設キュアポート	長門市三隅中 301 番地 4	0837-43-2722
特定非営利活動法人さざんか ハピネスさざんか	長門市油谷新別名 964 番地	0837-32-2533